

インターバンクの声（2017 年 6 月 30 日）

ロンドン市場の午前中に 112 円 60 銭台まで円売り・ドル買いが進んだ円相場は、一旦は調整が入り掛けたが、米長期金利の上昇と 1－3 月期米GDP確報値が改定値から上方修正されたことも加わり、112 円 93 銭までドルの上昇が続いた。

ただ、このあと、ニューヨーク市場の午後までに 1 円超ドルが反落すると予想した人はほとんどいなかっただろう。下落後に振り返って見れば、確かに NY 株が下げ始めたタイミングでドルも下げ始めているし、ほぼ同じ時間帯での原油価格も 40～50 セント幅で乱高下していた。ここ 2 週間ほど総じてドル安相場が続いているが、円相場だけ週初の 111 円台前半から 1 円 70 銭もドル高が進んでいたとあっては、このドル売り調整も致し方なかったのかも知れない。

上抜けが難しいとされていた 112 円 50 銭の壁も抜けており、そこでドル買いに参入した人たちは運がなかった。NY ダウも 170 ドル近く下げて引けており、今日の日経平均も連れ安となりそうで、ドル買いに向かうのは難しそうな週末だ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。